

# 心理学教育のための教材研究 V

## —心理統計学における回帰概念理解の要因モデル—

堤 幸一 (教育心理学科)

### A Study of Teaching Materials for Psychology Education V: A Model that Promotes better Understanding the Concept of Regression in Psychostatistics

Koichi TSUTSUMI (Department of Educational Psychology)

#### 抄録

堤(2014)は、心理学教育のための教材研究の一環として、心理統計分野で重要な「相関と回帰」概念を、マグニチュード推定法を用いて実データを収集させ、学修者自身で回帰分析を演習させることで、関連した基礎的概念の理解を促進させる試みを行った。本研究はこの教材実施の効果を検証し、さらにより効果的な働きかけのための要因モデルを試作した。また教材として収集された実データについても分析し、その一般性の確認も併せて行った。

キーワード 心理統計法教育、教材研究、マグニチュード推定法